



NetApp E-Seriesデータソース

OnCommand Insight

NetApp
October 24, 2024

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/oncommand-insight/config-admin/e-series-landing-page-terminology-storage.html> on October 24, 2024. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

NetApp E-Seriesデータソース	1
用語集	1
要件	1
設定	1
高度な設定	2
Eシリーズストレージ	2
Eシリーズストレージプール	2
Eシリーズストレージノード	3

NetApp E-Seriesデータソース

NetApp E-Seriesデータソースは、インベントリとパフォーマンスの情報を収集します。可能な構成は2種類（ファームウェア6.xとファームウェア7.x以降）で、値はどちらも同じです。

用語集

OnCommand Insightでは、NetApp E-Seriesデータソースから次のインベントリ情報を取得します。Insightで取得したアセットタイプごとに、このアセットに使用される最も一般的な用語が表示されます。このデータソースを表示またはトラブルシューティングするときは、次の用語に注意してください。

ベンダー / モデルの用語	Insightの用語
ドライブ	ディスク
ボリュームグループ	ディスクグループ
ストレージアレイ	ストレージ
コントローラ	ストレージノード
ボリュームグループ	ストレージプール
ボリューム	ボリューム



これらは一般的な用語のマッピングであり、このデータソースのすべてのケースを表しているとは限りません。

要件

- アレイの各コントローラのIPアドレス
- ポート要件2463

設定

* フィールド *	* 概要 *
アレイ SANtricity コントローラのIPをカンマで区切ったリスト	アレイコントローラのIPアドレスまたは完全修飾ドメイン名

高度な設定

* フィールド *	* 概要 *
インベントリポーリング間隔（分）	インベントリポーリングの間隔（デフォルトは30分）
パフォーマンスポーリング間隔（最大3600秒）	パフォーマンスのポーリング間隔（デフォルトは300秒）

Eシリーズストレージ

NetApp Eシリーズストレージのアセットランディングページに記載されているオブジェクトや参照に適用される用語。

Eシリーズストレージの用語

以下の用語は、NetApp Eシリーズストレージアセットランディングページに表示されるオブジェクトや参照先に適用されます。これらの用語の多くは、他のデータコレクタにも適用されます。

- model --デバイスのモデル名。
- vendor --新しいデータソースを設定する場合と同じベンダー名。
- シリアル番号—アレイのシリアル番号NetApp clustered Data ONTAPなどのクラスターアーキテクチャストレージシステムでは、このシリアル番号が個々の「ストレージノード」のシリアル番号よりも有用でない場合があります。
- IP：通常は、データソースで設定されているIPまたはホスト名です。
- マイクロコードバージョン—ファームウェア。
- Raw Capacity：役割に関係なく、システム内のすべての物理ディスクの2進数の合計。
- レイテンシ：ホストに直面しているワークロードで発生している状況を読み取りと書き込みの両方で表したもの。Insightでは、ストレージ内のボリュームからIOPS加重平均を算出します。
- スループット—アレイのホスト側の合計スループットInsightでは、ボリュームのスループットを合計してこの値を算出します。
- 管理—これにはデバイスの管理インターフェースのハイパーリンクが含まれている場合がありますインベントリレポートの一部としてInsightデータソースによってプログラムによって作成されます。

Eシリーズストレージプール

NetApp Eシリーズストレージプールのアセットランディングページに記載されているオブジェクトや参照に適用される用語。

Eシリーズストレージプールの用語

以下の用語は、NetApp Eシリーズストレージプールのアセットランディングページに表示されるオブジェクトや参照先に適用されます。これらの用語の多くは、他のデータコレクタにも適用されます。

- ストレージ—このプールが配置されているストレージアレイ必須。
- タイプ(Type)--可能性の列挙されたリストから'説明的な値を指定します最も一般的な構成は「シンプロビジョニング」または「RAIDグループ」です。
- ノード：このストレージアレイのアーキテクチャでプールが特定のストレージノードに属する場合は、ストレージアレイの名前が独自のランディングページへのハイパーリンクとして表示されます。
- Flash Poolを使用（「はい」または「いいえ」）
- redundancy—RAIDレベルまたは保護スキーム。Eシリーズでは、DDPプールについて「RAID 7」が報告されます。
- 容量—使用済み論理容量、使用可能容量、論理合計容量、およびこれらの使用率が表示されます。どちらの値にもEシリーズの「予約済み」容量が含まれるため、Eシリーズのユーザインターフェイスで表示される数値と割合がどちらも大きくなります。
- オーバーコミット容量：効率化テクノロジを使用して、ストレージプールの論理容量よりも大きい合計ボリューム容量を割り当てた場合、この割合の値は0%より大きくなります。
- スナップショット—使用中のスナップショット容量と合計容量(ストレージプールアーキテクチャがその容量の一部をスナップショット専用のセグメント領域に使用している場合)
- 利用率：このストレージプールに容量を提供しているディスクのうち、ディスクビジー率が最も高い割合を示すパーセンテージ。ディスク利用率は、必ずしもアレイのパフォーマンスと強い相関関係があるとは限りません。ホスト駆動型のワーククロードがない場合、ディスクのリビルドや重複排除処理などが原因で利用率が高くなる可能性があります。また、多くのアレイのレプリケーション実装では、ボリュームのワーククロードとしては表示されませんが、ディスク利用率が上昇する可能性があります。
- IOPS --このストレージプールに容量を提供しているすべてのディスクの合計IOPS。
- スループット—このストレージプールに容量を提供しているすべてのディスクの合計スループット

Eシリーズストレージノード

NetApp Eシリーズストレージノードのアセットランディングページに記載されている、オブジェクトまたは参照に適用される用語。

Eシリーズストレージノードの用語

以下の用語は、NetApp Eシリーズストレージプールのアセットランディングページに表示されるオブジェクトや参照先に適用されます。これらの用語の多くは、他のデータコレクタにも適用されます。

- ストレージ—このノードが属するストレージアレイ必須。
- HAパートナー-- 1つのノードが1つだけ他のノードにフェイルオーバーするプラットフォームでは、一般的にここに表示されます。
- State --ノードのヘルス。アレイが正常な状態でデータソースでインベントリを作成できる場合にのみ使用できます。
- model --ノードのモデル名。
- version --デバイスのバージョン名
- シリアル番号—ノードのシリアル番号
- memory --ベース2メモリ(使用可能な場合)。

- 利用率：NetApp Eシリーズでは現在利用率を使用できません。
- IOPS -このノードにのみ属するボリュームのすべてのIOPSを合計して算出します。
- Latency --このコントローラでの一般的なホストのレイテンシまたは応答時間を表す数値。Insightでは、このノードにのみ属するボリュームからIOPSの加重平均を計算します。
- スループット—このコントローラ上のホストによって駆動されるスループットを表す数値。このノードにのみ属するボリュームのスループットをすべて合計して算出します。
- processors — CPU数。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。